

午餐講演会 開催実績 【2017年～1957年】

霞山会

| 開催日時 | 演 題 | 講 師 |
|-----------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 2017年(平成29年)12月18日(月) | 中国のプラットフォーム企業とイノベーション：強さにどう向き合うか | 渡邊真理子先生（学習院大学経済学部経営学科教授） |
| 2017年(平成29年)11月13日(月) | 北朝鮮核問題に対する我が国の対応 | 平岩俊司先生（南山大学総合政策学部教授） |
| 2017年(平成29年)10月16日(月) | 習近平の目指す中国 | 城山英巳先生（時事通信外信部編集委員） |
| 2017年(平成29年)9月21日(木) | 習近平政権の回顧と展望 | 高原明生先生（東京大学法学部教授） |
| 2017年(平成29年)7月27日(木) | ASEAN創設50年－その成果と米中対峙の新局面における課題 | 金子芳樹先生（獨協大学教授） |
| 2017年(平成29年)6月19日(月) | 返還20周年を迎える香港 | 福島香織先生（ジャーナリスト） |
| 2017年(平成29年)5月15日(月) | 急変する朝鮮半島情勢－韓国新政権と北朝鮮の動向 | 磐村和哉先生（共同通信編集委員兼論説委員） |
| 2017年(平成29年)4月17日(月) | 米中経済関係のゆくえ | 大橋英夫先生（専修大学経済学部教授） |
| 2017年(平成29年)3月30日(木) | 中国経済のボトルネック－過剰債務の実態 | 関辰一先生（日本総合研究所調査部副主任研究員） |
| 2017年(平成29年)2月20日(月) | 二期目を迎える習近平政権 | 興梠一郎先生（神田外語大学教授） |
| 2016年(平成28年)12月8日(木) | 明暗混在する中国経済の現状と日本企業の戦略 | 後藤康浩先生（亜細亜大学都市創造学部教授） |
| 2016年(平成28年)11月14日(月) | 米国新政権の外交政策 | 吉崎達彦先生（双日総合研究所 チーフエコノミスト） |
| 2016年(平成28年)10月27日(木) | 習近平の軍事改革はどこまで進んだのか | 阿部純一先生（霞山会理事・研究主幹、月刊『東亜』編集長） |
| 2016年(平成28年)9月15日(木) | 習近平政権は無事二期目を迎えられるか | 中澤克二先生（日本経済新聞編集委員兼論説委員） |
| 2016年(平成28年)7月25日(月) | 習近平政権の言論統制と知識人 | 及川淳子先生（桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群専任講師） |
| 2016年(平成28年)6月27日(月) | 中国経済の『新常态』－供給側改革は成功するか | 関志雄先生（野村資本市場研究所シニアフェロー） |
| 2016年(平成28年)5月31日(火) | 中国の南シナ海進出と地域秩序 | 佐藤考一先生（桜美林大学リベラルアーツ学群教授） |
| 2016年(平成28年)4月21日(木) | 文化大革命は「歴史」となったのか－中国に通底する政治風土的共通項 | 辻康吾先生（中国現代資料研究会代表） |
| 2016年(平成28年)3月30日(水) | 北朝鮮の核に日米韓はどう対応するか | 伊豆見元先生（静岡県立大学国際関係学部教授） |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|---------------------------------------|-------------------------------|
| 2016年(平成28年)2月22日(月) | 2016年の中国経済の行方ー成長と改革のハザマ | 柯隆先生 (富士通総研経済研究所主席研究員) |
| 2015年(平成27年)12月17日(木) | 新常态下の中国経済 | 大橋英夫先生 (専修大学経済学部教授) |
| 2015年(平成27年)11月30日(月) | 日中関係はどう進むのか | 川島真先生 (東京大学大学院総合文化研究科教授) |
| 2015年(平成27年)10月27日(火) | 新たな均衡点を模索する米中関係 | 高木誠一郎先生 (日本国際問題研究所研究顧問) |
| 2015年(平成27年)9月14日(月) | 戦後70年のアジアと日本 | 中西寛先生 (京都大学公共政策大学院教授) |
| 2015年(平成27年)7月27日(月) | AIIB設立と日本の対応 | 吉崎達彦先生 (双日総合研究所取締役・チーフエコノミスト) |
| 2015年(平成27年)6月23日(火) | 日中文化交流とソフトパワーの活用 | 刈間文俊先生 (東京大学大学院総合文化研究科) |
| 2015年(平成27年)5月28日(木) | 中国の反腐敗闘争の背景にあるもの | 金子秀敏先生 (毎日新聞社客員編集委員) |
| 2015年(平成27年)4月20日(月) | 中国の海洋進出と日本の対応 | 香田洋二先生 (元自衛艦隊司令官) |
| 2015年(平成27年)3月25日(水) | 容易ならぬ新常态への移行：全人代から見た中国経済の課題 | 杜進先生 (拓殖大学国際学部教授) |
| 2014年(平成26年)12月9日(火) | 中国の経済、政治、外交ー習近平政権の行方 | 津上俊哉先生 (津上工作室代表) |
| 2014年(平成26年)11月17日(月) | 台湾ひまわり運動から香港雨傘革命へー拒絶された習近平の『中華民族復興』路線 | 野嶋剛先生 (AERA編集部) |
| 2014年(平成26年)10月21日(火) | 改革に向けた正念場ー習近平政権の課題 | 興梠一郎先生 (神田外語大学教授) |
| 2014年(平成26年)9月16日(火) | 中国の教育と経済発展 | 牧野文夫先生 (法政大学経済学部長・教授) |
| 2014年(平成26年)7月28日(月) | 中国の民主化の行方ー基層からの視座 | 阿古智子先生 (東京大学大学院総合文化研究科准教授) |
| 2014年(平成26年)6月30日(月) | 中国発の金融危機はあるか | 瀬口清之先生 (キャノングローバル戦略研究所研究主幹) |
| 2014年(平成26年)5月20日(火) | 米中融和時代の日米同盟のゆくえ | 川上高司先生 (拓殖大学海外事情研究所教授・所長) |
| 2014年(平成26年)4月24日(木) | 北朝鮮を見限れない中国 | 平岩俊司先生 (関西学院大学国際関係学部教授) |
| 2014年(平成26年)3月27日(木) | 全人代を終えてー習政権の本格始動1年で見えてきたもの | 吉岡桂子先生 (朝日新聞編集委員) |
| 2014年(平成26年)2月13日(木) | 日中関係の前途 | 天児慧先生 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授) |
| 2013年(平成25年)12月19日(木) | 彷徨する中華世界ー失われた『権威』の再建ー | 辻康吾先生 (中国現代資料研究会代表) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------------|
| 2013年(平成25年)11月19日(火) | 安倍政権の対アジア・米国外交 | 谷内正太郎先生（内閣官房参与） |
| 2013年(平成25年)10月25日(金) | 「リコノミクス」の課題と展望 | 大橋英夫先生（専修大学経済学部教授） |
| 2013年(平成25年)9月19日(木) | 台湾経済が抱える課題と日台経済関係の行方 | 伊藤信悟先生（みずほ総合研究所株式会社） |
| 2013年(平成25年)7月22日(月) | 国連安保理決議と北朝鮮の対外軍事支援 | 宮本悟先生（聖学院大学准教授） |
| 2013年(平成25年)6月18日(火) | TPP問題を再考する | 金子勝先生（慶應義塾大学経済学部教授） |
| 2013年(平成25年)5月28日(火) | PM2.5から見える中国の転換点 | 染野憲治先生（東京財団研究員） |
| 2013年(平成25年)4月18日(木) | 対外拡張を支える中国の軍事動向 | 茅原郁生先生（拓殖大学名誉教授） |
| 2013年(平成25年)3月19日(火) | 中国経済の展望 | 関志雄先生（野村資本市場研究所シニアフェロー） |
| 2013年(平成25年)2月14日(木) | 習近平新政権と日中関係の行方 | 遠藤誉先生（筑波大学名誉教授） |
| 2012年(平成24年)12月13日(木) | 韓国大統領選挙のゆくえ | 小針進先生（静岡県立大学国際関係学部教授） |
| 2012年(平成24年)11月27日(火) | 日本再生への課題 | 渡辺利夫先生（拓殖大学総長・学長） |
| 2012年(平成24年)10月30日(火) | 中国共産党第18回全国代表大会をどう読み解くか | 矢吹晋先生（横浜市立大学名誉教授） |
| 2012年(平成24年)9月27日(木) | 新時代を迎える中台関係と尖閣諸島問題 | 野嶋剛先生（朝日新聞社国際編集部次長） |
| 2012年(平成24年)7月26日(木) | 中国「国家資本主義」の挑戦と限界 | 三浦有史先生（日本総合研究所調査部主任研究員） |
| 2012年(平成24年)6月26日(火) | 党大会を控えた中国政治の現状 | 佐々木智弘先生（日本貿易振興機構アジア経済研究所副主任研究員） |
| 2012年(平成24年)5月25日(金) | 金正恩は遺訓統治から脱却できるのか | 五味洋治先生（東京新聞編集委員） |
| 2012年(平成24年)4月19日(木) | 馬英九総統再選後の台湾 | 松田康博先生（東京大学東洋文化研究所教授） |
| 2012年(平成24年)3月29日(木) | 東アジア経済統合の選択肢－ASEAN共同体とTPP | 吉野文雄先生（拓殖大学海外事情研究所教授） |
| 2012年(平成24年)2月13日(月) | 米中関係と日本 | 船橋洋一先生（一般財団法人日本再建イニシアティブ理事長） |
| 2011年(平成23年)11月24日(木) | ポスト胡錦濤の中国－「調和」の次に来るもの | 大西康雄先生（アジア経済研究所 新領域研究センター長） |
| 2011年(平成23年)10月24日(月) | 台湾総統選挙に問われるもの | 井尻秀憲先生（東京外国語大学教授） |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|-----------------------------|---|
| 2011年(平成23年)9月29日(木) | 中国の経済成長に潜む陥穽 | 津上俊哉先生 (東亜キャピタル代表取締役社長) |
| 2011年(平成23年)7月26日(火) | 中国の再生可能エネルギー戦略 | 丸川知雄先生 (東京大学社会科学研究所教授) |
| 2011年(平成23年)6月22日(水) | 「中国の海洋進出」を追いかけた40年を回顧する | 平松茂雄先生 (中国軍事研究家) |
| 2011年(平成23年)5月31日(火) | 中国新メディア事情 | 古畑康雄先生 (共同通信社国際局) |
| 2011年(平成23年)4月18日(月) | 中国外交への視点 | 岡部達味先生 (東京都立大学名誉教授) |
| 2011年(平成23年)2月21日(月) | 世界の潮流の中で日中関係を考える | 宮本雄二先生 (前駐中華人民共和国特命全権大使) |
| 2010年(平成22年)12月13日(月) | 中国共産党統治の現状と課題 | 国分良成先生 (慶應義塾大学教授・法学部長) |
| 2010年(平成22年)11月16日(火) | 台湾の将来選択—ECFA後の中台関係と馬英九政権の行方 | 野嶋剛先生 (朝日新聞国際編集部中国語チーム長、前台北支局長) |
| 2010年(平成22年)10月29日(金) | 中国経済にとっての「三農」問題 | 小島麗逸先生 (大東文化大学名誉教授) |
| 2010年(平成22年)9月27日(月) | 中国のエネルギー戦略と日本の課題 | 柴田明夫先生 (丸紅経済研究所代表) |
| 2010年(平成22年)7月27日(火) | 人民元切り上げがもたらす政治経済効果 | 細川美穂子先生 (みずほ総合研究所アジア調査部中国室研究員) |
| 2010年(平成22年)6月28日(月) | 緊張続く朝鮮半島情勢と中国の役割 | 平岩俊司先生 (関西学院大学教授) |
| 2010年(平成22年)5月31日(月) | 米中関係における協調と摩擦 | 高木誠一郎先生 (青山学院大学教授) |
| 2010年(平成22年)4月28日(水) | 進む中国のモータリゼーションと自動車産業の行方 | 田原真司先生 (ジャーナリスト[元日経BP社北京支局長]) |
| 2010年(平成22年)3月25日(木) | 日米同盟と東アジアの安全保障 | 西原正先生 ((財) 平和・安全保障研究所理事長) |
| 2010年(平成22年)2月15日(月) | 経済から見た東アジア共同体の可能性 | 木村福成先生 (慶應義塾大学経済学部教授) |
| 2009年(平成21年)12月17日(木) | 環境分野における日中の戦略的互惠関係 | 染野憲治先生 (東京財団政策研究部研究員・政策プロデューサー) |
| 2009年(平成21年)11月30日(月) | 民主党政権下の日米関係 | 渡部恒雄先生 (東京財団上席研究員・政策研究部ディレクター[外交・安全保障担当]) |
| 2009年(平成21年)10月29日(木) | ポスト胡錦濤と中国の将来 | 矢吹晋先生 (横浜市立大学名誉教授) |
| 2009年(平成21年)9月29日(火) | 核と後継者問題に揺れる北朝鮮 | 山岡邦彦先生 (読賣新聞論説委員) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|---------------------------|-------------------------------------|
| 2009年(平成21年)7月22日(水) | 中台経済関係の進展と今後の課題 | 伊藤信悟先生(みずほ総合研究所上席主任研究員) |
| 2009年(平成21年)6月30日(火) | 中国少数民族問題 その淵源と病理 | 加々美光行先生(愛知大学現代中国学部教授) |
| 2009年(平成21年)5月25日(月) | 見直される日本的経営 | 後藤康浩先生(日本経済新聞編集局アジア部長) |
| 2009年(平成21年)4月22日(水) | 中国経済は8%成長を確保できるか | 柯隆先生(富士通総研経済研究所主席研究員) |
| 2009年(平成21年)3月30日(月) | 国境を越える犯罪—海賊とテロ | 竹田いさみ先生(獨協大学教授) |
| 2009年(平成21年)2月23日(月) | 世界金融市場の混乱が中国に及ぼす影響について | 田代秀敏先生(大和総研主任研究員、東京財団研究員) |
| 2008年(平成20年)12月12日(金) | 波乱の2008年から展望する2009年 | 中西寛先生(京都大学教授) |
| 2008年(平成20年)11月25日(火) | 米新政権とアジア | 田中明彦先生(東京大学教授) |
| 2008年(平成20年)10月30日(木) | 「世界の市場」中国への進出を再考する | 服部健治先生(中央大学大学院戦略経営研究科教授) |
| 2008年(平成20年)9月16日(火) | 六十年の不信、北朝鮮と向き合うには | 和田春樹先生(東京大学名誉教授) |
| 2008年(平成20年)7月23日(水) | 日本のODAをどうする? | 渡辺利夫先生(拓殖大学学長) |
| 2008年(平成20年)6月30日(月) | 台湾新政権と中台関係 | 濱本良一先生(読賣新聞論説委員) |
| 2008年(平成20年)5月23日(金) | 中国とインドの民族系企業の台頭—自動車産業を中心に | 丸川知雄先生(東京大学社会科学研究所教授) |
| 2008年(平成20年)4月25日(金) | 地球温暖化問題—中国の視点から | 青山周先生(社団法人日本経済団体連合会 国際第二本部アジアグループ長) |
| 2008年(平成20年)3月25日(火) | 国務院人事・機構改革から見た第2期胡・温体制の展望 | 矢吹晋先生(横浜市立大学名誉教授) |
| 2008年(平成20年)2月15日(金) | 韓国社会の変化と李明博新政権の課題 | 小針進先生(静岡県立大学国際関係学部教授) |
| 2007年(平成19年)12月10日(月) | 台湾の総統選挙をめぐる政治状況 | 井尻秀憲先生(東京外国語大学教授) |
| 2007年(平成19年)11月28日(水) | 五輪を超えて発展する中国経済の課題 | 関志雄先生(野村資本市場研究所シニアフェロー) |
| 2007年(平成19年)10月25日(木) | わが国のアジア外交と日中関係 | 小倉和夫先生(国際交流基金理事長) |
| 2007年(平成19年)9月25日(火) | 米国のアジア政策と朝鮮半島 | 神保謙先生(慶應義塾大学専任講師) |
| 2007年(平成19年)7月24日(火) | 中国に呑み込まれるASEAN経済 | 吉野文雄先生(拓殖大学海外事情研究所教授) |
| 2007年(平成19年)6月25日(月) | 「食の安全」が変える中国のフードビジネス | 馬場祥博先生(アジア食品安全研究センター代表取締役) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|------------------------------------|--|
| 2007年(平成19年)5月21日(月) | 第17回党大会めぐる中国政局と人事動向 | 金子秀敏先生(毎日新聞専門編集委員) |
| 2007年(平成19年)4月17日(火) | 中国のエネルギー資源戦略と海軍力の増強 | 江畑謙介先生(拓殖大学海外事情研究所客員教授・軍事評論家) |
| 2007年(平成19年)3月28日(水) | 中国の高等教育：現状と課題 | 李東翔先生(駐日本中国大使館公使参事官) |
| 2007年(平成19年)2月20日(火) | 中国WTO加盟5年後の現実 | 朱炎先生(富士通総研主席研究員) |
| 2006年(平成18年)12月12日(火) | 核実験後の朝鮮半島情勢について | 木村幹先生(神戸大学大学院国際協力研究科教授) |
| 2006年(平成18年)11月17日(金) | 経済の発展過程から見た上海 | 久保亨先生(信州大学人文学部教授) |
| 2006年(平成18年)10月24日(火) | 「中国脅威論」についての考え方 | 村井友秀先生(防衛大学校人文社会科学群長、教授) |
| 2006年(平成18年)9月26日(火) | 新政権の外交課題 | 田中均先生(日本国際交流センターシニア・フェロー、前外務省外務審議官) |
| 2006年(平成18年)7月28日(金) | アメリカから見た日中関係 | 高原明生先生(東京大学教授) |
| 2006年(平成18年)6月20日(火) | 駐在13年の体験的中国経済・金融論—不良債権処理問題の行方を中心に— | 堀俊雄先生(国際交流基金日中交流センター事務局長・前東京三菱銀行上海支店長) |
| 2006年(平成18年)5月22日(月) | 変わる中国メディア | 古畑康雄先生(共同通信社経済部記者) |
| 2006年(平成18年)4月21日(金) | 中小企業が変わる中国経済 | 駒形哲哉先生(慶應義塾大学経済学部助教授) |
| 2006年(平成18年)3月20日(月) | 中国第11次5ヵ年規画に見る「調和社会」への道 | 小林熙直先生(亜細亜大学アジア研究所所長・教授) |
| 2006年(平成18年)2月24日(金) | 上海におけるセーフティネットの実情：「調和社会」実現への課題 | 澤田ゆかり先生(東京外国語大学助教授) |
| 2006年(平成18年)1月16日(月) | 再構築迫られる日本のアジア外交 | 田中明彦先生(東京大学教授・東洋文化研究所所長) |
| 2005年(平成17年)12月14日(水) | 北朝鮮六ヵ国協議と日朝交渉 | 小此木政夫先生(慶應義塾大学法学部長) |
| 2005年(平成17年)11月28日(月) | 経済と安全保障から見た米中関係 | 吉崎達彦先生(双日総合研究所副所長) |
| 2005年(平成17年)10月20日(木) | アジア共通通貨への道—円の国際化と人民元の可能性 | 大西義久先生(財団法人金融情報システムセンター理事) |
| 2005年(平成17年)9月27日(火) | 日中関係の打開へ向けて | 岡部達味先生(東京都立大学名誉教授) |
| 2005年(平成17年)7月25日(月) | 蛇行する台湾の政治潮流と中台関係 | 松田康博先生(防衛庁防衛研究所主任研究官) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 2005年(平成17年)6月30日(木) | 中国における世論形成のメカニズム | 青山瑠妙先生(早稲田大学助教授) |
| 2005年(平成17年)5月25日(水) | 上海(華東)進出日系企業の活動状況と直面する問題点 | 丸屋豊二郎先生(ジェトロ上海センター前所長) |
| 2005年(平成17年)4月22日(金) | ASEANに影響力強める中国 | 竹田いさみ先生(獨協大学教授) |
| 2005年(平成17年)3月22日(火) | 中国経済はどこへ向かうのか | 矢吹晋先生(横浜市立大学名誉教授) |
| 2005年(平成17年)2月18日(金) | 市場としての中国—資生堂のブランド戦略 | 弦間明先生(株式会社資生堂相談役) |
| 2005年(平成17年)1月20日(木) | 日中関係の閉塞をいかに打開すべきか | 天児慧先生(早稲田大学教授) |
| 2004年(平成16年)12月14日(火) | 立法委員選挙後の台湾 | 矢島誠司先生(産経新聞論説副委員長) |
| 2004年(平成16年)11月16日(火) | 治水治国:中国における水資源の活用 | 劉昌明先生(中国科学院院士(アカデミー会員)) |
| 2004年(平成16年)10月12日(火) | 日中関係から見た対中ODA | 馮昭奎先生(元中国社会科学院日本研究所副所長) |
| 2004年(平成16年)9月27日(月) | 韓国ドラマ・文化交流の幻想 | 古田博司先生(筑波大学社会科学系教授) |
| 2004年(平成16年)7月22日(木) | 中国政治体制の行方 | 国分良成先生(慶應義塾大学法学部教授) |
| 2004年(平成16年)6月23日(水) | 中国の産業発展と日本経済—日中共生の方向性と国内産業にとっての課題 | 渡辺幸男先生(慶應義塾大学教授) |
| 2004年(平成16年)5月18日(火) | 中国のエネルギー戦略と日本 | 十市勉先生(日本エネルギー経済研究所常務理事) |
| 2004年(平成16年)4月20日(火) | 時空を超えた日中関係—体験から語る協力のありかた | 池上正治先生(作家) |
| 2004年(平成16年)3月30日(火) | 台湾総統選挙と米中台関係 | 松田康博先生(防衛庁防衛研究所主任研究官) |
| 2004年(平成16年)2月25日(水) | 日本のFTA戦略—その課題と展望 | 木村福成先生(慶應義塾大学経済学部教授) |
| 2004年(平成16年)1月21日(水) | 北朝鮮を巡る情勢と日朝関係 | 鈴木勝也先生(特命全権大使(日朝国交正常化交渉日本政府代表)) |
| 2003年(平成15年)12月8日(月) | 東アジア情勢と日本外交 | 北岡伸一先生(東京大学教授) |
| 2003年(平成15年)11月10日(月) | 新時代を迎えた中国の宇宙開発 | 稗田浩雄先生((財)未来工学研究所 技術・国際関係研究センター長) |
| 2003年(平成15年)10月20日(月) | 中国の対日新思考 | 岡部達味先生(東京都立大学名誉教授) |
| 2003年(平成15年)9月22日(月) | 新たな軍事改革めざす中国 | 平松茂雄先生(杏林大学総合政策学部教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|------------------------------------|--|
| 2003年(平成15年)7月28日(月) | 中国経済の発展と「中華民族の復興」 | 小島麗逸先生(大東文化大学教授) |
| 2003年(平成15年)6月17日(火) | 中国統計の読み方 | 中嶋誠一先生(拓殖大学海外事情研究所教授) |
| 2003年(平成15年)5月20日(火) | 香港で進む脱工業化プロセス | 澤田ゆかり先生(東京外国語大学助教授) |
| 2003年(平成15年)4月17日(木) | 最近の中国事情と今後の日米中関係について | 木村一三先生(日中経済貿易センター名誉会長・国際石油(株)社長) |
| 2003年(平成15年)3月12日(水) | 「風水」から見た中国の環境問題 | 上田信先生(立教大学教授) |
| 2003年(平成15年)2月18日(火) | 「新体制」中国の課題と展望 | 高原明生先生(立教大学教授) |
| 2003年(平成15年)1月17日(金) | 中国の鉄道の現状と将来ー北京ー上海新幹線計画を中心としてー | 土井勝二先生(日中鉄道友好推進協議会代表副会長・元運輸審議官) |
| 2002年(平成14年)12月11日(水) | 核開発問題をめぐる米朝関係の行方 | 伊豆見元先生(静岡県立大学教授) |
| 2002年(平成14年)11月25日(月) | 活発化する東アジアにおける自由貿易協定の意味 | 浦田秀次郎先生(早稲田大学教授) |
| 2002年(平成14年)10月21日(月) | 中国国内政治と两岸関係 | 岡田充先生(共同通信編集委員・前台北支局長) |
| 2002年(平成14年)9月27日(金) | 中国共産党十六全大会の新人事をどう見るか | 高橋博先生(中国問題研究者) |
| 2002年(平成14年)7月24日(水) | 中国における日系進出企業の軌跡ー松下グループを事例としてー | 青木俊一郎先生(松下電器中国・北東アジア本部顧問、元松下電器〈中国〉有限公司総経理) |
| 2002年(平成14年)5月22日(水) | タイにおけるチャイナ・コネクションー伝統的華人組織と財閥グループー | 末廣昭先生(東京大学社会科学研究所教授) |
| 2002年(平成14年)4月26日(金) | 日韓・日朝関係の新局面 | 小此木政夫先生(慶応義塾大学教授) |
| 2002年(平成14年)3月13日(水) | 日中経済関係の正しい見方 | 関志雄先生(経済産業研究所上席研究員) |
| 2002年(平成14年)2月22日(金) | 中国新疆ウイグル自治区の歴史と現在 | 新免康先生(中央大学教授) |
| 2002年(平成14年)1月23日(水) | 世界同時不況化で中国経済の成長はつづく | 矢吹晋先生(横浜市立大学教授) |
| 2001年(平成13年)12月14日(金) | 台湾政治の色彩学ー2001年選挙のアイデンティティ・ポリティックスー | 若林正丈先生(東京大学教授) |
| 2001年(平成13年)11月19日(月) | 中国経済社会の前途ー体制変容の可能性ー | 菱田雅晴先生(静岡県立大学国際関係学部教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 2001年(平成13年)10月23日(火) | 「新しい戦争」と現代世界 | 田中明彦先生 (東京大学教授) |
| 2001年(平成13年)9月11日(火) | 日中貿易摩擦の背景と対応 | 服部健治先生 (愛知大学現代中国学部教授) |
| 2001年(平成13年)7月23日(月) | 「冷戦」の岐路に立つ米中関係 | 村井友秀先生 (防衛大学校教授) |
| 2001年(平成13年)6月18日(月) | 経済から見た中国・東アジア情勢 | 渡辺利夫先生 (拓殖大学教授) |
| 2001年(平成13年)5月24日(木) | 陳水扁政権の一年と中台関係 | 松田康博先生 (防衛庁防衛研究所研究官) |
| 2001年(平成13年)4月17日(火) | 「改革」を模索する北朝鮮と朝鮮半島情勢 | 鈴木典幸先生 ((財)ラヂオプレス理事) |
| 2001年(平成13年)3月21日(水) | 対中ODAをめぐる政治状況 | 小島朋之先生 (慶応義塾大学教授) |
| 2001年(平成13年)2月13日(火) | 二十一世紀最初の十年の中国 | 天児慧先生 (青山学院大学教授) |
| 2000年(平成12年)12月11日(月) | 中国にとっての二十世紀 | 山田辰雄先生 (慶応義塾大学教授) |
| 2000年(平成12年)11月21日(火) | 現代アメリカ政治を見る眼ーアメリカ新政権の課題と展望ー | 吉原欽一先生 ((社)アジアフォーラム・ジャパン常務理事) |
| 2000年(平成12年)10月26日(木) | 日米中関係の現状と展望 | 国分良成先生 (慶応義塾大学地域研究センター所長・法学部教授) |
| 2000年(平成12年)9月19日(火) | 変容する朝鮮半島と日本の対応 | 山岡邦彦先生 (読売新聞論説委員) |
| 2000年(平成12年)7月26日(水) | 中国・西部大開発の意義と問題点 | 柯隆先生 (富士通総研経済研究所主任研究員) |
| 2000年(平成12年)6月29日(木) | 台湾・陳水扁新政権の課題 | 若林正丈先生 (東京大学教授) |
| 2000年(平成12年)5月25日(木) | アメリカ大統領選挙のなかの中国問題 | 宇佐美滋先生 (日本大学教授) |
| 2000年(平成12年)4月17日(月) | 朝鮮半島情勢をどう見るか | 小此木政夫先生 (慶応義塾大学教授) |
| 2000年(平成12年)3月13日(月) | WTO加盟と中国の対応 | 大橋英夫先生 (専修大学経済学部教授) |
| 2000年(平成12年)2月21日(月) | 2000年の国際情勢を展望する | 田中明彦先生 (東京大学東洋文化研究所教授) |
| 1999年(平成11年)12月14日(火) | 円の国際化とアジア経済の展望 | 堀俊雄先生 (東京三菱銀行主任調査役) |
| 1999年(平成11年)11月10日(水) | 台湾政治と兩岸関係 | 若林正丈先生 (東京大学教授) |
| 1999年(平成11年)10月22日(金) | 建国五十年ー中国政治社会の変容 | 岡部達味先生 (専修大学教授) |
| 1999年(平成11年)9月27日(月) | 中国のWTO加盟と産業構造調整 | 丸山伸郎先生 (愛知大学教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| 1999年(平成11年)7月19日(月) | 迷走する？米中関係 | 高木誠一郎先生（防衛庁防衛研究所第二研究部部長） |
| 1999年(平成11年)6月30日(水) | 求心力問われるASEAN | 竹田いさみ先生（独協大学教授） |
| 1999年(平成11年)5月20日(木) | TMDの政治学—日米防衛協力ガイドラインとアジア・太平洋の安全保障— | 森本敏先生（野村総合研究所主任研究員） |
| 1999年(平成11年)4月19日(月) | 中国・朱鎔基改革二年目の課題 | 高原明生先生（立教大学法学部助教授） |
| 1999年(平成11年)3月29日(月) | 危機迫る朝鮮半島—核合意枠組みの行方— | 伊豆見元先生（静岡県立大学教授） |
| 1999年(平成11年)2月15日(月) | 人民元相場の行方 | 大久保勲先生（東銀リサーチインターナショナル研究理事） |
| 1998年(平成10年)12月22日(火) | 東アジア経済再生への道 | 渡辺利夫先生（東京工業大学教授） |
| 1998年(平成10年)9月14日(月) | 金正日「新体制」の虚実 | 鈴木典幸先生（財団法人ラヂオプレス理事） |
| 1998年(平成10年)7月16日(木) | クリントン訪中の成果と日本の対応 | 国分良成先生（慶応義塾大学教授） |
| 1998年(平成10年)6月17日(水) | 朱鎔基「三大改革」の展望 | 信太謙三先生（時事通信社解説委員・前北京支局長） |
| 1998年(平成10年)5月18日(月) | 韓国経済の試練 | 深川由起子先生（青山学院大学助教授） |
| 1998年(平成10年)3月25日(水) | 岐路に立つ香港経済と中国の対応 | 鮫島敬治先生（(社)日本経済研究センター客員研究委員） |
| 1998年(平成10年)2月16日(月) | 東アジア通貨危機のゆくえ | 大橋英夫先生（専修大学助教授） |
| 1997年(平成9年)12月15日(月) | 岐路に立つ朝鮮半島情勢と日本の対応 | 小此木政夫先生（慶応義塾大学教授） |
| 1997年(平成9年)11月10日(月) | 日中関係の展望 | 末次一郎先生（(財)育青協会理事長） |
| 1997年(平成9年)10月21日(火) | 我が国の中国外交裏面史（講演会） | 岡田晃先生（元スイス大使・元香港総領事・霞山会顧問） |
| 1997年(平成9年)10月1日(水) | 中国共産党15全大会の分析 | 小島朋之先生（慶応義塾大学教授） |
| 1997年(平成9年)9月12日(金) | ASEANの再編と中国の影 | 竹田いさみ先生（独協大学教授） |
| 1997年(平成9年)7月16日(水) | 東アジア中華思想共有圏—相互非友好の超克をめざして | 古田博司先生（筑波大学助教授） |
| 1997年(平成9年)6月17日(火) | 党大会と江沢民の人事構想 | 矢吹晋先生（横浜市立大学教授） |
| 1997年(平成9年)5月15日(木) | 香港は繁栄を維持できるか | 渡辺利夫先生（東京工業大学教授） |
| 1997年(平成9年)4月21日(月) | 北朝鮮経済をどうとらえるか | 室岡鉄夫先生（防衛庁防衛研究所教官） |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|----------------------|----------------------|----------------------------------|
| 1997年(平成9年)3月17日(月) | 第2期クリントン政権の東アジア政策 | 田中明彦先生(東京大学東洋文化研究所助教授) |
| 1997年(平成9年)2月25日(火) | 鄧小平以後の日中関係 | 加々美光行先生(愛知大学教授) |
| 1996年(平成8年)12月10日(火) | 変容するアジア経済と日本 | リチャード・クー先生(野村総合研究所主任研究員) |
| 1996年(平成8年)11月12日(火) | 日本外交のすすむべき道 | 池井優先生(慶応義塾大学教授) |
| 1996年(平成8年)10月14日(月) | 東シナ海をめぐる中国の戦略 | 平松茂雄先生(杏林大学社会科学部教授) |
| 1996年(平成8年)9月11日(水) | 中国のASEAN地域フォーラム | 添谷芳秀先生(慶応義塾大学教授) |
| 1996年(平成8年)7月24日(水) | 大統領選挙をめぐるロシア情勢 | 下斗米伸夫先生(法政大学教授) |
| 1996年(平成8年)6月27日(木) | 返還までの一年・香港の現状 | 中園和仁先生(八千代国際大学教授) |
| 1996年(平成8年)5月17日(金) | 朝鮮半島の現状をどうみるか | 田中明先生(拓殖大学海外事情研究所) |
| 1996年(平成8年)4月10日(水) | 総選挙後の中台関係 | 石田浩先生(関西大学教授) |
| 1996年(平成8年)3月6日(水) | 日本の外交と中国の外交 | 中江要介先生(元中国大使・霞山会理事) |
| 1996年(平成8年)2月13日(火) | 日米安保体制と東アジアの国際関係 | 田中明彦先生(東京大学東洋文化研究所助教授) |
| 1995年(平成7年)12月12日(火) | 近代史からみた現代中国 | 山田辰雄先生(慶応義塾大学法学部長) |
| 1995年(平成7年)11月13日(月) | 転換期の中国 | 岡部達味先生(専修大学教授・霞山会理事) |
| 1995年(平成7年)10月6日(金) | ポスト鄧小平をめぐる中国政治 | 田畑光永先生(前TBS報道局解説委員) |
| 1995年(平成7年)9月11日(月) | 台湾をめぐる米中関係 | 宇佐美滋先生(日本大学教授) |
| 1995年(平成7年)7月24日(月) | 日本にとっての中国 | 石川忠雄先生(慶応義塾大学名誉教授・霞山会理事) |
| 1995年(平成7年)6月12日(月) | 広東省から見た中国の経済発展 | 古森利貞先生(外務省外交史料館館長) |
| 1995年(平成7年)5月23日(火) | 中国脅威論と東南アジアの軍近代化 | 江畑謙介先生(ジェーンズ・ディフェンス・ウィークリー日本特派員) |
| 1995年(平成7年)4月12日(水) | 中国の近代化努力と日本の対応 | 鮫島敬治先生((社)日本経済研究センター研究顧問) |
| 1995年(平成7年)3月15日(水) | 江沢民体制の課題と展望 | 朱建栄先生(東洋学園大学助教授) |
| 1995年(平成7年)2月14日(火) | 日本外交の座標軸－米国の対中政策を中心に | 田久保忠衛先生(杏林大学社会学部教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|----------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 1994年(平成6年)12月16日(金) | 台湾をめぐる日米中の構図 | 武見敬三先生(東海大学助教授) |
| 1994年(平成6年)11月17日(木) | 経済過熱化の中国政治 | 金子秀敏先生(毎日新聞外信部副部長・前北京特派員) |
| 1994年(平成6年)10月17日(月) | ポスト鄧小平をめぐる権力闘争と政策論争 | 高原明生先生(桜美林大学助教授) |
| 1994年(平成6年)9月9日(金) | 北朝鮮・金正日体制の課題と展望 | 小此木政夫先生(慶応義塾大学教授) |
| 1994年(平成6年)7月15日(金) | 中国外交の新局面 | 岡部達味先生(東京都立大学教授・霞山会理事) |
| 1994年(平成6年)6月23日(木) | 経済体制改革と鄧小平思想 | 渡辺利夫先生(東京工業大学教授) |
| 1994年(平成6年)5月25日(水) | 90年代中国地域発展の方向ー市場経済化と地域経済の地殻変動 | 丸山伸郎先生(アジア経済研究所経済協力調査室長) |
| 1994年(平成6年)4月22日(金) | 現代中国の歴史性ーポスト鄧小平をめぐって考える | 竹内実先生(京都大学名誉教授) |
| 1994年(平成6年)3月24日(木) | 思想教化の朝鮮ー歴史から分析する現代朝鮮の思想状況 | 古田博司先生(筑波大学助教授) |
| 1994年(平成6年)2月28日(月) | 「盲流」をどうみるか | 武吉次朗先生(摂南大学教授) |
| 1993年(平成5年)12月17日(金) | 日本の経験からみた中国の経済改革ー江沢民国家主席の5つの設問に答える | 南亮進先生(一橋大学経済研究所) |
| 1993年(平成5年)11月24日(水) | 中国の現況と上海の開放計画 | 黄美真先生(復旦大学教授) |
| 1993年(平成5年)10月26日(火) | 冷戦後のアジアと中台関係 | 井尻秀憲先生(筑波大学助教授) |
| 1993年(平成5年)9月29日(水) | 中国・香港の現状と将来 | 東郷重興先生(日本銀行政策委員会室長) |
| 1993年(平成5年)7月21日(水) | 華南経済圏と華人客家ネットワーク | 中川學先生(一橋大学教授) |
| 1993年(平成5年)6月25日(金) | 金日成体制の成立と発展ー社会主義体制と伝統文化の共鳴 | 鐸木昌之先生(聖学院大学専任講師) |
| 1993年(平成5年)5月11日(火) | 総選挙をめぐるカンボジア情勢 | 友田錫先生(亜細亜大学教授) |
| 1993年(平成5年)4月26日(月) | 「資本主義」に向かう中国経済 | 小島麗逸先生(大東文化大学教授) |
| 1993年(平成5年)3月25日(木) | 全人代にみるポスト鄧小平の人事配置 | 矢吹晋先生(横浜市立大学教授) |
| 1993年(平成5年)2月24日(水) | クリントン米新政権のアジア政策をさぐる | 田中明彦先生(東京大学東洋文化研究所助教授) |
| 1992年(平成4年)12月14日(月) | 顕在化するアジア軍拡構造 | 西原正先生(防衛大学校教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|----------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1992年(平成4年)11月16日(月) | 党大会以後の中国経済の見通し—社会主義市場経済の評価と展望 | 稲垣清先生 (三菱総合研究所国際動向分析センター主任) |
| 1992年(平成4年)10月22日(木) | 新段階迎えた朝鮮半島情勢 | 伊豆見元先生 (静岡県立大学助教授) |
| 1992年(平成4年)9月16日(水) | 世界における華僑・華人の新動向 | 游仲勲先生 (国際大学教授) |
| 1992年(平成4年)6月30日(火) | 豆満江開発をめぐる周辺各国の動向 | 田中脩二郎先生 (日中東北開発協会副会長) |
| 1992年(平成4年)5月27日(水) | 日本の国際交流のあり方 | 小倉和夫先生 (外務省経済局長) |
| 1992年(平成4年)4月20日(月) | 中国政治の行方—動き出した鄧小平と日本の対応 | 国分良成先生 (慶応義塾大学法学部教授) |
| 1992年(平成4年)3月31日(火) | 戦後処理と今後の日本 | 須之部量三先生 (杏林大学教授) |
| 1992年(平成4年)2月25日(火) | 対日経済摩擦解消に再選賭けるブッシュ政権 | 小尾敏夫先生 (コロンビア大学主任研究員) |
| 1991年(平成3年)11月13日(水) | 国連加盟後の朝鮮半島情勢 | 伊豆見元先生 (ハーバード大学高等研究員・静岡県立大学助教授) |
| 1991年(平成3年)10月14日(月) | 中ソ社会主義体制の変動とアジアの将来 | 中嶋嶺雄先生 (東京外国語大学教授) |
| 1991年(平成3年)9月20日(金) | 問われる日本の対中ソ外交 | 田中明彦先生 (東京大学助教授) |
| 1991年(平成3年)7月31日(水) | ロンドン・サミット後のアジア情勢 | 船橋洋一先生 (朝日新聞編集委員) |
| 1991年(平成3年)6月17日(月) | 軍をめぐる中国の情勢と中ソ首脳会談 | 平松茂雄先生 (杏林大学教授) |
| 1991年(平成3年)5月28日(火) | 北東アジアの新風—環日本海新時代の原点をさぐる— | 中野謙二先生 (東海大学教授) |
| 1991年(平成3年)4月22日(月) | ゴルバチョフ訪日後の日ソ関係 | 木村汎先生 (国際日本文化研究センター教授) |
| 1991年(平成3年)3月13日(水) | 中国の現状とポスト鄧—国際関係の視点から | 渡辺長雄先生 (経済評論家・霞山会理事) |
| 1991年(平成3年)2月22日(金) | 激動する国際情勢とアメリカ外交 | 田中明彦先生 (東京大学助教授) |
| 1990年(平成2年)12月21日(金) | 中国経済の現状と問題点 | 今井理之先生 (日本貿易振興会主任調査研究員) |
| 1990年(平成2年)10月23日(火) | 日本と中国・台湾の関係 | 黄昭堂先生 (昭和大学教授) |
| 1990年(平成2年)9月28日(金) | 最近の世界情勢と日本外交 | 佐藤行雄先生 (外務省情報調査局長・前香港総領事) |
| 1990年(平成2年)7月27日(金) | 動きだしたゴルバチョフの対アジア政策—内政・経済との連繋からみる | 秋野豊先生 (筑波大学教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1990年(平成2年)6月22日(金) | カンボジア和平の行方 | 三尾忠志先生(大東文化大学教授) |
| 1990年(平成2年)5月31日(木) | 北京特派員の見た中国 | 斧泰彦先生(朝日新聞編集委員・前北京支局長) |
| 1990年(平成2年)4月27日(金) | ソ連の大統領制と所有制変革 | 藤田勇先生(神奈川大学教授) |
| 1990年(平成2年)3月29日(木) | 変わり行く世界の安全保障 | 西原正先生(防衛大学校教授) |
| 1990年(平成2年)2月16日(金) | 戒厳令解除後の中国 | 岡部達味先生(東京都立大学教授・霞山会理事) |
| 1989年(平成1年)12月18日(月) | 中国を訪問して | 河合良一先生(日中経済協会会長・小松製作所会長) |
| 1989年(平成1年)10月31日(火) | 日・米・アジアN I E S —三極の世界像 | 渡辺利夫先生(東京工業大学教授) |
| 1989年(平成1年)9月21日(木) | 中国経済の動向と対外経済関係 | 大久保勲先生(東京銀行中国委員会副委員長) |
| 1989年(平成1年)7月27日(木) | 中国の“動乱”と情報 | 大野静三先生(文化女子大学教授・NHK解説委員) |
| 1989年(平成1年)6月22日(木) | 混乱期の台中関係 | 武見敬三先生(東海大学助教授) |
| 1989年(平成1年)5月19日(金) | 東アジア国際関係の変化と北朝鮮の選択 | 伊豆見元先生(静岡県立大学助教授) |
| 1989年(平成1年)4月21日(金) | 中国政治民主化の行方—改革派知識人の苦闘— | 加々美光行先生(アジア経済研究所) |
| 1989年(平成1年)3月22日(水) | 中国の政治体制改革の現状と展望 | 李延江先生(中国政治体制改革研究会常任理事・駐日本代表) |
| 1989年(平成1年)2月15日(水) | これからの日ソ関係と北方領土問題 | 末次一郎先生(安全保障問題研究会事務局長) |
| 1988年(昭和63年)12月21日(水) | アジア・太平洋経済の将来 | 篠原三代平先生(東京国際大学教授) |
| 1988年(昭和63年)11月16日(水) | 復活した中国軍の階級制度 | 平松茂雄先生(杏林大学社会科学部教授) |
| 1988年(昭和63年)10月26日(水) | 竹下総理訪中後の日中経済関係の展望 | 稲垣清先生(三菱総合研究所主任研究員) |
| 1988年(昭和63年)9月16日(金) | 日中関係の今後について | 中江要介先生(原子力委員会委員) |
| 1988年(昭和63年)7月20日(水) | アジア・太平洋の政治と安全保障—米ソ首脳会議以後の展望 | 小此木政夫先生(慶応義塾大学教授) |
| 1988年(昭和63年)6月20日(月) | 中国政治と日中関係 | 浅井基文先生(東京大学教授) |
| 1988年(昭和63年)5月20日(金) | 中国の近代化政策と解放軍 | 伊達宗義先生(拓殖大学海外事情研究所教授) |
| 1988年(昭和63年)4月20日(水) | 中国返還を9年後に控えた香港の素顔—香港特派員報告— | 戸張東夫先生(読売新聞前香港特派員) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1988年(昭和63年)3月15日(火) | 中国を熟視して六十年－歴史にみる中国の近代化 | 蔵居良造先生(霞山会理事) |
| 1988年(昭和63年)2月19日(金) | ポスト蔣経国の台湾政治を展望する | 若林正丈先生(東京大学助教授) |
| 1987年(昭和62年)12月14日(月) | 1988年国際政治の展望 | 伊藤憲一先生(青山学院大学教授) |
| 1987年(昭和62年)11月20日(金) | ポスト鄧小平のはじまり－党13全大会を検証する | 小島朋之先生(京都産業大学教授) |
| 1987年(昭和62年)10月23日(金) | 日中教育交流の現状と提言 | 王行虎先生(在日本中国大使館書記官) |
| 1987年(昭和62年)9月24日(木) | 最近の中国情勢 | 阿南惟茂先生(外務省アジア局中国課課長) |
| 1987年(昭和62年)6月29日(月) | 最近の中国外交 | 岡部達味先生(東京都立大学教授) |
| 1987年(昭和62年)5月20日(水) | 香港から見た中国開放経済の現状と行方－深圳特区を中心に | 小島末夫先生(JETRO中国・北アジアチーム) |
| 1987年(昭和62年)4月27日(月) | 世界にとってのアジア－日米欧委員会に出席して | 神谷不二先生(慶応義塾大学教授) |
| 1987年(昭和62年)3月31日(火) | 中ソ関係はどうか－中ソ両国の改革を通して考える | 菊地昌典先生(東京大学教授) |
| 1987年(昭和62年)2月25日(水) | 中国社会主義の行方－胡耀邦退陣にみる－ | 矢吹晋先生(横浜市立大学教授) |
| 1986年(昭和61年)12月16日(火) | 歴史として見た東南アジア | 山本達郎先生(東京大学名誉教授・日本学士院会員) |
| 1986年(昭和61年)11月26日(水) | 米ソ緊急首脳会談決裂の波紋 | 田久保忠衛先生(杏林大学教授) |
| 1986年(昭和61年)10月23日(木) | 中国現代化の課題 | 孫宗光先生(北京大学教授) |
| 1986年(昭和61年)9月17日(水) | 中国の産業・技術改造と日米の対中技術移転 | 丸山伸郎先生(アジア経済研究所経済開発分析プロジェクトチーム研究主任) |
| 1986年(昭和61年)7月25日(金) | 訪中漫語 | 小川平四郎先生(霞山会常任理事) |
| 1986年(昭和61年)6月19日(木) | アメリカから見た日中関係の将来 | アレン・S・ホワイティング先生(アリゾナ大学教授) |
| 1986年(昭和61年)5月30日(金) | 朝鮮半島情勢の展望 | 伊豆見元先生(平和安全保障研究所研究員) |
| 1986年(昭和61年)4月23日(水) | アジアはどう動くか | 吉田実先生(朝日新聞前アジア総局長) |
| 1986年(昭和61年)3月19日(水) | 中国人の日本留学とアメリカ留学比較 | 阿部洋先生(国立教育研究所) |
| 1986年(昭和61年)2月19日(水) | 北京で暮らしてみた「中国の動向」 | 小島朋之先生(京都産業大学助教授) |
| 1985年(昭和60年)11月13日(水) | 中国における宗教界の現状 | 牧田諦亮先生(元京都大学人文科学研究所教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 1985年(昭和60年)10月16日(水) | SDI(スターウォーズ計画)と中国の立場 | 滝沢荘一先生(毎日新聞編集委員) |
| 1985年(昭和60年)9月11日(水) | 日中経済取引における法律上の諸問題―日中経済法セミナーを主催して | 原後山治先生(日中経済法律センター代表理事) |
| 1985年(昭和60年)7月25日(木) | 再編成進む中国人民解放軍 | 平松茂雄先生(防衛研究所第三研究室長) |
| 1985年(昭和60年)6月25日(火) | 中国現代史研究の課題―孫文研究討論会(北京)に参加して― | 山田辰雄先生(慶応義塾大学教授) |
| 1985年(昭和60年)5月15日(水) | 中国の対外開放政策 | 池子俊夫先生(三井銀行前北京事務所長) |
| 1985年(昭和60年)4月18日(木) | ASEANの経済発展と日本 | 広野良吉先生(成蹊大学教授) |
| 1985年(昭和60年)3月14日(木) | 日本文化と中国文化 | 石田一良先生(東北大学名誉教授) |
| 1985年(昭和60年)2月13日(水) | 英中調印後の香港 | 相川宏先生(香港大学アジア研究センター客員研究員) |
| 1984年(昭和59年)12月6日(木) | 最近の中国事情 | 渡辺幸治先生(外務省情報調査局長・前中国公使) |
| 1984年(昭和59年)10月24日(水) | ベトナムをめぐる国際関係 | 野田英二郎先生(外務省研修所長・元駐ベトナム大使) |
| 1984年(昭和59年)9月21日(金) | 21世紀に向けての日中関係 | 石川忠雄先生(慶応義塾大学塾長) |
| 1984年(昭和59年)7月12日(木) | 最近の日中経済関係について | 石川滋先生(青山学院大学教授) |
| 1984年(昭和59年)6月8日(金) | 中国に於ける日本語教育の現状 | 宋文軍先生(北京対外貿易学院教授) |
| 1984年(昭和59年)5月22日(火) | レーガン訪中とアジア | 北島霞先生(前毎日新聞ワシントン支局長) |
| 1984年(昭和59年)4月11日(水) | 香港の将来的地位と経済特区 | 小林熙直先生(日本貿易振興会中国チーム) |
| 1984年(昭和59年)3月15日(木) | 韓半島における新しい動き | 金三圭先生(コリア評論社主幹) |
| 1984年(昭和59年)2月8日(水) | 日本における安全保障論議 | 鯛山道雄先生(上智大学教授) |
| 1983年(昭和58年)12月7日(水) | 「水鳥外交秘話」の座標から国際情勢を展望する | 岡田晃先生(前駐スイス大使・元香港総領事) |
| 1983年(昭和58年)10月27日(木) | レーガン訪日訪亜の意義と展望 | 小尾敏夫先生(コロンビア大学東アジア研究所研究員) |
| 1983年(昭和58年)9月28日(水) | アジアをどうみるか | 須之部量三先生(前外務省事務次官) |
| 1983年(昭和58年)7月13日(水) | 全人代終わった中国の「内部」 | 船橋洋一先生(朝日新聞前北京特派員) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1983年(昭和58年)6月23日(木) | 日本の安全保障と国際戦略 | 岡崎久彦先生(外務省調査企画部長) |
| 1983年(昭和58年)5月12日(木) | 成長地域ーアジアの経済動態 | 渡辺利夫先生(筑波大学社会科学系助教授) |
| 1983年(昭和58年)4月6日(水) | 社会と制度ー中国の近況から考える | 竹内実先生(京都大学人文科学研究所教授) |
| 1983年(昭和58年)3月9日(水) | アンドロポフ新体制下のソ連 | 飯田健一先生(NHK外信部次長) |
| 1983年(昭和58年)2月22日(火) | 日米摩擦と中曽根訪米 | 神谷不二先生(慶応義塾大学教授) |
| 1982年(昭和57年)12月22日(水) | 中国観察ー実践と方法 | 戸張東夫先生(読売新聞外報部) |
| 1982年(昭和57年)12月2日(木) | 国際金融不安とその対策ー金融恐慌は来るか | 渡辺長雄先生(日興リサーチセンター顧問・霞山会理事) |
| 1982年(昭和57年)10月27日(水) | 東南アジア諸国との協力の道ー歴訪の成果 | 江崎真澄先生(衆議院議員・自民党国際経済対策特別調査会会長) |
| 1982年(昭和57年)9月22日(水) | 中国の抱える諸問題と庶民感情 | 田川五郎先生(読売新聞編集委員) |
| 1982年(昭和57年)7月21日(水) | 新中東危機と世界情勢 | 小山茂樹先生((財)中東経済研究所研究主幹) |
| 1982年(昭和57年)6月30日(水) | アジアにおける経済協力・援助ー現状と問題点 | 村井吉敬先生(上智大学助教授) |
| 1982年(昭和57年)5月25日(火) | 核ミサイル時代の国防 | 野沢豊吉先生(東京工業大学名誉教授) |
| 1982年(昭和57年)4月14日(水) | 現代アラブの動向と日本 | 中岡三益先生(国際商科大学教授) |
| 1982年(昭和57年)3月17日(水) | 中国人民解放軍を視察して | 西広整輝先生(防衛庁審議官) |
| 1982年(昭和57年)2月3日(水) | 最近の国際情勢について | 橋本恕先生(外務省情報文化局長) |
| 1981年(昭和56年)12月2日(水) | 最近の日本外交のあり方 | 木村俊夫先生(衆議院議員) |
| 1981年(昭和56年)11月19日(木) | 北京より帰って | 吉田健三先生(前駐中国大使) |
| 1981年(昭和56年)10月14日(水) | 対中鉄鋼技術協力について | 浅川秀二先生(新日本製鉄(株)中国協力本部調整課長) |
| 1981年(昭和56年)9月9日(水) | わが国の安全保障政策を斬るー間違いだらけの防衛増強論 | 前田寿夫先生(元防衛研修所第一研究室長) |
| 1981年(昭和56年)7月8日(水) | 最近の中国の政治情勢についてー6中全会を終えて | 岡部達味先生(東京都立大学教授) |
| 1981年(昭和56年)6月16日(火) | 新展開の日米関係について | 浅尾新一郎先生(外務省北米局長) |
| 1981年(昭和56年)5月20日(水) | ポーランド・東欧経済問題 | 猪木正道先生(ソ連・東欧貿易会東欧部長) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1981年(昭和56年)4月15日(水) | 当面の国際・軍事情勢についてーマクロ・ミクロ的考察 | 岩島久夫先生 (防衛研修所第一戦史研究室長) |
| 1981年(昭和56年)3月23日(月) | アセアンと日本 | 稲嶺一郎先生 (参議院議員) |
| 1981年(昭和56年)2月4日(水) | 現地にみた中国と日中経済 | 渡辺長雄先生 (日興リサーチセンター顧問・霞山会理事) |
| 1980年(昭和55年)12月5日(金) | 世界から見たアジア | 大来佐武郎先生 (対外経済担当政府代表) |
| 1980年(昭和55年)11月11日(火) | 米大統領選挙後の世界情勢 | 田久保忠衛先生 (時事通信解説委員) |
| 1980年(昭和55年)10月15日(水) | 西太平洋に於ける日本とインドネシア | ヌグロホ・ノトスサント先生 (インドネシア大学教授) |
| 1980年(昭和55年)9月17日(水) | 最近のアジア情勢とわが外交 | 木内昭胤先生 (外務省アジア局長) |
| 1980年(昭和55年)7月16日(水) | 最近の韓国情勢 | 前田利一先生 (元駐韓国公使) |
| 1980年(昭和55年)6月11日(水) | 中国との経済協力について | 梁井新一先生 (外務省経済協力局長) |
| 1980年(昭和55年)5月7日(水) | 日中関係の将来と在り方 | 岡崎嘉平太先生 (日中経済協会顧問) |
| 1980年(昭和55年)4月15日(火) | 中共5中全会と劉少奇の復権 | 徳田教之先生 (筑波大学教授) |
| 1980年(昭和55年)3月12日(水) | 南北朝鮮対話の行方 | 玉城素先生 (評論家) |
| 1980年(昭和55年)2月12日(火) | ソ連の世界戦略とアフガン情勢 | 法眼晋作先生 (外務省顧問) |
| 1979年(昭和54年)12月4日(火) | 最近の中国をめぐる諸問題 | 佐藤正二先生 (前駐中国大使) |
| 1979年(昭和54年)11月14日(水) | 中国思想の自己主張 | 村松映先生 (慶応義塾大学教授) |
| 1979年(昭和54年)10月11日(木) | 日本人と危機感覚 | 佐々淳行先生 (防衛庁参事官) |
| 1979年(昭和54年)9月12日(水) | 東京サミット後のエネルギー情勢と展望 | 深海博明先生 (慶応義塾大学教授) |
| 1979年(昭和54年)7月11日(水) | 米国のアジア外交 | 神谷不二先生 (慶応義塾大学教授) |
| 1979年(昭和54年)5月28日(月) | 最近のアジアと日本の安全保障 | 猪木正道先生 ((財)平和安全保障研究所理事長) |
| 1979年(昭和54年)4月27日(金) | 中国経済の成長力を占う | 金森久雄先生 (日本経済研究センター理事長) |
| 1979年(昭和54年)3月27日(火) | 外国人の見た日本とアジア | グレゴリー・クラーク先生 (上智大学客員教授) |
| 1979年(昭和54年)1月24日(水) | 79年のアジア経済とわが国の外交 | 柳谷謙介先生 (外務省アジア局長) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|----------------------|---------------------------------------|---------------------------|
| 1978年(昭和53年)12月6日(水) | 日中関係の過去と将来 | 小川平四郎先生(元駐中国大使) |
| 1978年(昭和53年)11月9日(木) | 最近の世界経済の動向 | 牛場信彦先生(国務大臣・霞山会理事) |
| 1978年(昭和53年)10月4日(水) | 日米経済戦争と追上げるアジア中進工業国 | 小尾敏夫先生(コロンビア大学研究員) |
| 1978年(昭和53年)9月13日(水) | 世界経済の変動と日本の課題 | 渡辺長雄先生(日興リサーチセンター顧問) |
| 1978年(昭和53年)7月4日(火) | 日中“片面”条約の帰結 | 永井陽之助先生(東京工業大学教授) |
| 1978年(昭和53年)6月7日(水) | 米中軍事提携の諸問題 | 宇佐美滋先生(東京外国語大学助教授) |
| 1978年(昭和53年)5月10日(水) | 日中長期貿易取決めと中国経済 | 市川衛門先生(前駐中国公使) |
| 1978年(昭和53年)4月5日(水) | 第5期全国人民代表大会と中国の今後 | 江頭数馬先生(毎日新聞論説委員) |
| 1978年(昭和53年)3月1日(水) | 北朝鮮指導層の新旧交代をどうみるかー人事刷新が日本、韓国へ与える影響ー | 林建彦先生(東海大学教授) |
| 1978年(昭和53年)2月15日(水) | 鄧小平復活後の中国の権力体制 | 岡部達味先生(東京都立大学教授) |
| 1978年(昭和53年)1月19日(木) | 中ソ関係のなかでみたインドシナ | 三尾忠志先生(国際情勢研究会研究員) |
| 1977年(昭和52年)12月7日(水) | 中国人民解放軍と民兵の実態ー日中軍備の比較ー | 海原治先生(元国防会議議長) |
| 1977年(昭和52年)11月9日(水) | 中国の裁判制度とその実情ー人民裁判を傍聴してー | 大野正男先生(弁護士) |
| 1977年(昭和52年)9月14日(水) | 中国の新しい政治体制ー鄧小平再復活と11全大会ー | 中嶋嶺雄先生(東京外国語大学教授) |
| 1977年(昭和52年)9月7日(水) | 中国の運輸問題ー輸送問題の現状と課題・中国的特徴ー | 奥井俊史先生(トヨタ自動車販売(株)豪亜部課長) |
| 1977年(昭和52年)8月23日(火) | 中国を旅して(講演会) | 岡田晃先生(外務省研修所所長) |
| 1977年(昭和52年)8月17日(水) | 米中関係の展望ー米中の台湾問題での妥協点はどこかー | 小尾敏夫先生(コロンビア大学東アジア研究所研究員) |
| 1977年(昭和52年)7月13日(水) | 数量的側面からみた中国経済ー人口・食料・工業生産・対外経済・日中貿易などー | 尾上悦三先生(アジア経済研究所主任研究員) |
| 1977年(昭和52年)6月22日(水) | 200カイリ時代の大義ーソ連の大国主義と日本の立場ー | 木村尚三郎先生(東京大学教授) |
| 1977年(昭和52年)5月11日(水) | 中国の自然と人口と公害 | 宇井純先生(東京大学工学部都市工学科) |
| 1977年(昭和52年)4月13日(水) | 米側史料から見た朝鮮戦争ー米中ソ三大国関係の視点に立ってー | 伊豆見元先生(東京外国語大学) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|---|------------------------|
| 1977年(昭和52年)3月16日(水) | 中国の名宰相―管仲から周恩来まで | 守屋洋先生 (中国文学者) |
| 1977年(昭和52年)2月23日(水) | カーター政権のアジア政策―北東アジアを中心に― | 神谷不二先生 (慶応義塾大学教授) |
| 1977年(昭和52年)1月12日(水) | アジアの新情勢と東亜同文会―米中ソ三極構造の展開を巡って― | 江頭数馬先生 (毎日新聞論説委員) |
| 1976年(昭和51年)12月8日(水) | 内から見た韓国学生と社会の変貌 | 重村智計先生 (毎日新聞外信部) |
| 1976年(昭和51年)11月10日(水) | 金日成政権をめぐる北朝鮮政局 | 西村敏夫先生 (朝日新聞調査研究所幹事) |
| 1976年(昭和51年)10月6日(水) | シナとタイの黎明比較―東南アジアの五・四運動― | 河部利夫先生 (東京外国語大学教授) |
| 1976年(昭和51年)9月1日(水) | 日本民族の文化と新世界文明 | 坂口三郎先生 (世界文化連合協会理事長) |
| 1976年(昭和51年)8月4日(水) | 毛沢東以後の可能性―考えられる五つの場合― | 桑原寿二先生 (総合研究所中国部長) |
| 1976年(昭和51年)7月7日(水) | 解放南ベトナムの近況―サイゴンからの見聞― | 佐々木垣先生 (共同通信外信部) |
| 1976年(昭和51年)6月2日(水) | 中国の文革派と右派の争い―思想・権力闘争の行方― | 蔵居良造先生 (中国研究家・霞山会常任理事) |
| 1976年(昭和51年)5月7日(金) | 解放後のサイゴン (講演会) | 渡辺幸治先生 (外務省研修所主席指導官) |
| 1976年(昭和51年)5月12日(水) | 日中経済交流の展望―石油・鉄鋼・絹糸等― | 嶋倉民生先生 (アジア経済研究所) |
| 1976年(昭和51年)4月7日(水) | 中ソ粛清の比較―スターリンと毛沢東の粛清の比較― | 高橋正先生 (東京新聞外報部次長) |
| 1976年(昭和51年)3月10日(水) | 東南アジアと日本の進路―「反日」の構造と中国の役割― | 岡部達味先生 (東京都立大学教授) |
| 1976年(昭和51年)2月18日(水) | 日本に保革連合の基盤はあるか―イタリヤの教訓と自民党の対応 | 加藤嘉行先生 (サンケイ新聞編集委員) |
| 1975年(昭和50年)12月3日(水) | 太平洋共同体の夢―日本・太平洋協議会の目標― | 増田与先生 (早稲田大学教授) |
| 1975年(昭和50年)11月5日(水) | 韓国経済の近況―農村問題を中心に― | 池田徳次先生 (外務省北東アジア課事務官) |
| 1975年(昭和50年)10月1日(水) | シオニズムとパレスチナ民族主義―アラブゲリラと日本赤軍― | 笹川正博先生 (朝日新聞編集委員) |
| 1975年(昭和50年)9月2日(火) | 中ソを旅して―中ソ社会主義の比較 | 中西治先生 (神奈川大学助教授) |
| 1975年(昭和50年)8月6日(水) | 南ベトナムにおける民族解放闘争とは何であったか―民族民主革命戦争の実情と未来への課題と展望 | 井川一久先生 (朝日新聞前インドシナ特派員) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| 1975年(昭和50年)7月2日(水) | 日本の部落問題と世界の差別—その起源と現状— | 伊藤正孝先生 (朝日新聞外報部) |
| 1975年(昭和50年)6月4日(水) | 米中ソの陣取り合戦 | 高橋正先生 (東京新聞外報部) |
| 1975年(昭和50年)5月14日(水) | 文革派の政治攻勢開始と中国政局—文革派・江青派の台頭か— | 蔵居良造先生 (中国研究家・霞山会理事) |
| 1975年(昭和50年)4月9日(水) | 動乱のエチオピア—エチオピア革命が世界に投げかけた課題— | 伊藤正孝先生 (朝日新聞外報部) |
| 1975年(昭和50年)3月26日(水) | 東ヨーロッパより帰って | 岡田晃先生 (前駐ブルガリア大使) |
| 1975年(昭和50年)3月5日(水) | 国際協力と日本の立場—新しい国際秩序の設立 | 広長敬太郎先生 (ユネスコ大使) |
| 1975年(昭和50年)2月26日(水) | 中国の抱えている目前の課題と謎—新憲法の新人事より観測する— (講演会) | 柴田穂先生 (サンケイ新聞外信部) |
| 1975年(昭和50年)2月5日(水) | 北ベトナムの現況と将来への展望—経済復興と長期計画の問題点— | 富山栄吉先生 (大東文化大学東洋研究所) |
| 1975年(昭和50年)1月20日(月) | 中国の新しい世界戦略—中国の現状と毛沢東以後— | 中嶋嶺雄先生 (東京外国語大学教授) |
| 1974年(昭和49年)12月4日(水) | 中国の婦人 | 兼松左知子先生 (東京都婦人相談員) |
| 1974年(昭和49年)11月6日(水) | 明日への食料政策—土地利用の拡大 | 梶井功先生 (東京農工大学教授) |
| 1974年(昭和49年)10月2日(水) | 潜在的巨大産油国中国—石油開発を展望する— | 大野英男先生 (中国経済研究家) |
| 1974年(昭和49年)9月4日(水) | 仮説「中ソ戦争」—推移予想・日本への影響— | 浅井勇先生 (大陸問題研究所副所長) |
| 1974年(昭和49年)7月10日(水) | 孔子批判の意味—歴史的・現在的考察— (講演会) | 加藤祐三先生 (横浜市立大学教授) |
| 1974年(昭和49年)7月3日(水) | 孔子批判運動の解けない謎—知りたい文革の総括— | 佐々木基一先生 (中央大学教授・文芸評論家) |
| 1974年(昭和49年)6月5日(水) | 参議院選挙と日本共産党—民主連合政府綱領を評す— | 飯塚繁太郎先生 (読売新聞解説部次長) |
| 1974年(昭和49年)5月8日(水) | 新憲法制定の経緯—真相を瞭らかにする— | 大島多蔵先生 (元衆議院議員) |
| 1974年(昭和49年)4月3日(水) | 中国の工業化についての印象—中国の石油事情と化学工業— | 神原周先生 (東京工業大学教授) |
| 1974年(昭和49年)3月6日(水) | 最近の中近東情勢 | 岩永博先生 (法政大学教授・中東調査会常任理事) |
| 1974年(昭和49年)2月6日(水) | 海洋の水産資源をめぐって | 久宗高先生 (海洋水産資源開発センター理事長) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|------------------------|-----------------------------|
| 1974年(昭和49年)1月18日(金) | 中国の孔子批判 | 桑原寿二先生 (東京外国語大学講師) |
| 1973年(昭和48年)12月5日(水) | 新中国の仏教・儒教の現状 | 大類純先生 (東洋大学教授) |
| 1973年(昭和48年)11月7日(水) | 現代と歴史的真理 | 安岡正篤先生 (全国師友協会会長) |
| 1973年(昭和48年)10月3日(水) | 最近の中国の国情 | 蔵居良造先生 (朝日新聞平和問題調査室・霞山会理事) |
| 1973年(昭和48年)9月5日(水) | ポストベトナムのアジア情勢 | 斉藤吉史先生 (朝日新聞外報部部長) |
| 1973年(昭和48年)7月4日(水) | 中国の新しい動き | 小島麗逸先生 (アジア経済研究所) |
| 1973年(昭和48年)6月6日(水) | 禅僧ひとりヨーロッパに行く | 寺子丸泰仙先生 |
| 1973年(昭和48年)4月4日(水) | 最近のソ連情勢 | 木村明生先生 (朝日新聞前モスクワ特派員) |
| 1973年(昭和48年)3月27日(火) | 視てきた北朝鮮 | 富山栄吉先生 (大東文化大学講師) |
| 1973年(昭和48年)3月7日(水) | 南ベトナム臨時革命政府の実態 | 井上吉三郎先生 (外務省南東アジア1課) |
| 1973年(昭和48年)2月7日(水) | 東西ドイツの現況と将来 | 甲斐文比古先生 (前駐ドイツ大使・外務省顧問) |
| 1972年(昭和47年)11月18日(土) | 日中共同声明ーこれで良かったかー | 神谷不二先生 (慶応義塾大学教授) |
| 1972年(昭和47年)10月11日(水) | バングラデシュの最近の事情 | モノランジャン・ダール先生 (バングラデシュ駐日大使) |
| 1972年(昭和47年)9月6日(水) | 最近の台湾情勢 | 若菜正義先生 (毎日新聞調査部) |
| 1972年(昭和47年)7月5日(水) | 朝鮮統一への条件と展望 | 金三圭先生 (元東亜日報主筆・民族問題研究所所長) |
| 1972年(昭和47年)6月7日(水) | 周恩来の時代ー非毛沢東の進展 | 柴田穂先生 (サンケイ新聞外信部次長) |
| 1972年(昭和47年)5月10日(水) | 最近のベトナムを繞る国際情勢 | 今川瑛一先生 (アジア経済研究所動向分析室) |
| 1972年(昭和47年)4月5日(水) | 米中接近とソ連ーソ連のアジア政策ー | 坂田二郎先生 (日本国連協会専務理事・外交評論家) |
| 1972年(昭和47年)3月1日(水) | パキスタンとバングラデシュの歴史、民族と社会 | 平賀次郎先生 (イスラム研究家) |
| 1972年(昭和47年)2月2日(水) | 第26回国連総会の印象と米国の中国経済 | 田中弘人先生 (特命全権大使) |
| 1971年(昭和46年)11月10日(水) | 成人病と漢方療法 | 寺師睦濟先生 (東洋医学会理事) |
| 1971年(昭和46年)10月6日(水) | 視てきた中国 | 長島嘉一先生 ((株)ミナトスポーツ社長) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|----------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1971年(昭和46年)9月1日(水) | 東洋の叡知・易学の効用と誤用 | 角山素天先生(易学研究者) |
| 1971年(昭和46年)7月7日(水) | 東南アジア経済における華僑の動き | 張公権先生(台湾大学教授・南洋大学客員教授) |
| 1971年(昭和46年)6月2日(水) | ベトナム戦線より帰って | 鎌田光登先生(東京新聞外報部) |
| 1971年(昭和46年)5月6日(木) | 中国問題における法理論と政治論 | 田村幸策先生(国土館大学教授) |
| 1971年(昭和46年)4月2日(金) | シベリア開発の現状と将来 | 浅井勇先生(大陸問題研究所副所長) |
| 1971年(昭和46年)3月5日(金) | 北朝鮮の現状と将来 | 高瀬浄先生(高崎経済大学教授) |
| 1971年(昭和46年)2月5日(金) | 見てきたモンゴル | 小沢重男先生(東京外国語大学教授) |
| 1970年(昭和45年)12月4日(金) | アラブ諸国とイスラエル—四つの解決方策のどれを選ぶか | 前嶋信次先生(慶応義塾大学教授) |
| 1970年(昭和45年)11月6日(金) | 1975年の中国 | 伊藤喜久蔵先生(東京新聞外報部) |
| 1970年(昭和45年)10月9日(金) | ビルマ見聞記—ビルマの目指すもの— | 竹下正彦先生(第一生命保険会社調査役) |
| 1970年(昭和45年)9月4日(金) | ソ連辺境を巡って—シルクロードは舗装されていた— | 鹿島宗二郎先生(国際商科大学教授) |
| 1970年(昭和45年)7月3日(金) | 書画道について—その変遷、鑑賞等について | 清水董三先生(元中国公使・霞山会顧問) |
| 1970年(昭和45年)6月5日(金) | ラオス、カンボジャの人と風土—最近の視察旅行報告を混えて— | 三尾忠志先生(国際情勢研究会) |
| 1970年(昭和45年)5月7日(木) | 日中関係打開の道—日中覚書貿易交渉政治会談に出て— | 松本俊一先生(元外務省政務次官・日中覚書事務所理事) |
| 1970年(昭和45年)4月3日(金) | 日本の東南アジア農業開発の現状 | 伴正一先生(外務省経済協力局技術協力課長) |
| 1970年(昭和45年)3月6日(金) | 台湾問題の帰結—70年代の日中関係— | 蔵居良造先生(埼玉大学講師・朝日新聞中国アジア調査会) |
| 1970年(昭和45年)2月6日(金) | インドについて | 伊関佑二郎先生(元駐インド大使・霞山会理事) |
| 1970年(昭和45年)1月23日(金) | 日中貿易の現状と将来 | 原吉平先生(ジェットロ理事長・ユニチカ会長・霞山会理事) |
| 1969年(昭和44年)12月5日(金) | 新局面に立つ日ソ外交 | 茂森唯士先生(外交評論家) |
| 1969年(昭和44年)11月7日(金) | 西欧諸国の防衛を視察して | 藤原岩市先生(国民外交協会常務理事) |
| 1969年(昭和44年)10月8日(水) | 最近の中国事情 | 新島淳良先生(早稲田大学教授) |
| 1969年(昭和44年)8月8日(金) | 台湾の現状と将来—蔣経国の横顔— | 若菜正義先生(毎日新聞前台北支局長) |

| 開催日時 | 演 題 | 講 師 |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 1969年(昭和44年)7月24日(木) | 謎の国・中共の実態 | 池田正之輔先生 (衆議院議員) |
| 1969年(昭和44年)6月13日(金) | 日本発展の地理的要因と日本列島の未来—日本海の再発見— | 清水馨八郎先生 (千葉大学教授) |
| 1969年(昭和44年)5月2日(金) | 九全大会後の中国—毛・林中国の進路— | 江頭数馬先生 (毎日新聞外信部副部長) |
| 1969年(昭和44年)4月4日(金) | 東北アジア開発同盟について—ブロック思想から開かれた地域協力へ | 川喜多二郎先生 (東京工業大学教授) |
| 1969年(昭和44年)2月22日(土) | 山岡鉄舟を語る (講演会) | 大森曹玄先生 (臨済宗高歩院住職) |
| 1969年(昭和44年)2月12日(水) | アジアの平和と日本の役割—米ソ日中の四極化時代に於いて— | 岸田純之助先生 (朝日新聞論説委員) |
| 1968年(昭和43年)10月16日(水) | ポスト・ベトナムにおける米中関係 | 石川忠雄先生 (慶応義塾大学教授) |
| 1968年(昭和43年)8月9日(金) | 東欧の自由化の問題について | 岡田晃先生 (外務省欧亜局参事官) |
| 1968年(昭和43年)7月12日(金) | インドネシアの現状と将来—スハルト政権は安定政権になり得るか— | 金子智一先生 (インドネシア問題研究家) |
| 1968年(昭和43年)6月11日(火) | 防衛費の面からみた日本の役割 | 堂場肇先生 (読売新聞国際情勢研究会幹事) |
| 1968年(昭和43年)5月10日(金) | 中ソの矛盾するアジア戦略—中ソ対立を国際社会の現実の中に捉える | 甲谷悦雄先生 (KDK麹町研究所) |
| 1968年(昭和43年)4月5日(金) | 日米関係の将来—日米・日中関係の在り方— | 衛藤瀋吉先生 (東京大学教授) |
| 1968年(昭和43年)3月8日(金) | 中共外交の東南アジア戦略 | 今川瑛一先生 (アジア経済研究所動向分析室) |
| 1968年(昭和43年)2月9日(金) | 先進国日本への道—後進国援助の義務と課題 | 穴戸寿雄先生 (経済企画庁審議官) |
| 1967年(昭和42年)11月8日(水) | 変わりゆく東南アジア華僑社会 | 河部利夫先生 (東京外国語大学教授) |
| 1967年(昭和42年)10月4日(水) | 北京より帰って | 江頭数馬先生 (毎日新聞前北京支局長) |
| 1967年(昭和42年)9月6日(水) | アジアの地域協力と日本の役割 | 丸山静雄先生 (朝日新聞論説委員) |
| 1967年(昭和42年)7月5日(水) | ICBMと中共の技術開発の現況 | 伊達宗嗣先生 ((財)機械振興協会非常勤研究員) |
| 1967年(昭和42年)6月7日(水) | 沖縄問題について | 大浜信泉先生 ((財)南方同胞援護会会長) |
| 1967年(昭和42年)5月10日(水) | ソ連研究者の見た中国 | 菊地昌典先生 (東京大学助教授) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1967年(昭和42年)4月5日(水) | 中共文化大革命の革命陣営に与えた影響 | 竹内静子先生 (エコノミスト編集部) |
| 1967年(昭和42年)3月8日(水) | 科学技術革命におけるソ連の現状 | 小西善次先生 (明治大学教授) |
| 1967年(昭和42年)2月8日(水) | 中共の核戦力と日本の防衛 | 岸田純之助先生 (朝日新聞論説委員) |
| 1966年(昭和41年)11月16日(水) | 燕山夜話と文化大革命 | 江頭数馬先生 (毎日新聞外信部副部長) |
| 1966年(昭和41年)10月5日(水) | 中国文化大革命と日中貿易 | 木村一三先生 (国貿促関西本部専務理事) |
| 1966年(昭和41年)9月7日(水) | 南ベトナムを視察して | 大森曹玄先生 (臨済宗高歩院住職) |
| 1966年(昭和41年)7月26日(火) | 文化大革命と毛沢東の後継者 (講演会) | 柳内滋先生 (新亜書院大学教授) |
| 1966年(昭和41年)7月12日(火) | 中国美術の旅 | 米沢嘉圃先生 (東京大学教授) |
| 1966年(昭和41年)5月11日(水) | 中国の現況 | 藤堂明保先生 (中国語教育者・研究者訪中団団長) |
| 1966年(昭和41年)5月7日(土) | 中国の大衆演芸の現状について (講演会) | 田辺南鶴先生 (講談家) |
| 1966年(昭和41年)4月6日(水) | 最近のベトナムについて | 西川寛生先生 (大南公司業務部長) |
| 1966年(昭和41年)3月2日(水) | 中国人について | 諸橋轍次先生 (東京教育大学名誉教授) |
| 1966年(昭和41年)2月2日(水) | 中国の核武装と日本の立場 | 若泉敬先生 (中国問題研究家) |
| 1965年(昭和40年)12月8日(水) | 中国経済の発展と前途 | 鄭竹園先生 (セントポール大学・ジョージワシントン大学教授) |
| 1965年(昭和40年)11月4日(木) | 日中記者交換の第一陣として見た新中国 | 新井宝雄先生 (毎日新聞論説委員) |
| 1965年(昭和40年)10月6日(水) | アラブ連合を中心としたAA諸国情勢 | 倭島英二先生 (前アラブ連合大使) |
| 1965年(昭和40年)9月28日(火) | 20年前と今日の中国ー中国の民衆生活はどう変わったか | 鹿島宗二郎先生 (国士舘大学教授) |
| 1965年(昭和40年)9月1日(水) | 台湾の近情と日台関係 (講演会) | 植田修先生 (外務省事務官) |
| 1965年(昭和40年)7月7日(水) | 中共を中心としたアジア情勢 | 関戸辰蔵先生 (中国総合研究所幹事) |
| 1965年(昭和40年)6月2日(水) | 中共の核爆発とアジアの軍事情勢 | 土井明夫先生 (大陸問題研究所) |
| 1965年(昭和40年)5月26日(水) | A・A会議と日本 (講演会) | 大野勝巳先生 (外務省顧問) |
| 1965年(昭和40年)4月24日(土) | この目で見た中国 (講演会) | 中野謙二先生 (毎日新聞外信部) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|-------------------|------------------------|
| 1965年(昭和40年)4月7日(水) | 最近の北朝鮮 | 長野国助先生 (国際法律家連絡協会会長) |
| 1965年(昭和40年)2月23日(火) | 韓国の一般情勢について (講演会) | 韓通淑先生 (韓国国会議員) |
| 1965年(昭和40年)2月3日(水) | ナショナリズムと日中外交 | 田尻愛義先生 (霞山会常任理事) |
| 1965年(昭和40年)1月19日(火) | 中国雑感 (講演会) | 原吉平先生 (ニチポー社長・霞山会理事) |
| 1964年(昭和39年)12月2日(水) | 最近のソ連邦 (講演会) | 池田正之輔先生 (衆議院議員) |
| 1964年(昭和39年)11月4日(水) | 混迷を続けるインドシナ情勢 | 渡辺直士先生 (アジア同友会会長) |
| 1964年(昭和39年)9月2日(水) | 日本の平和部隊 | 末次一郎先生 (日本健青会会長) |
| 1964年(昭和39年)8月12日(水) | 訪中所感 (講演会) | 佐々木更三先生 (社会党訪中使節団長) |
| 1964年(昭和39年)8月5日(水) | 獄中より見た中共社会 | 園田慶作先生 |
| 1964年(昭和39年)6月23日(火) | 激動する韓国の政情 (講演会) | 加藤通夫先生 (毎日新聞調査部) |
| 1964年(昭和39年)5月26日(火) | 訪中報告 (講演会) | 高田富佐夫先生 (毎日新聞外報部) |
| 1964年(昭和39年)5月6日(水) | 中共の現状について (講演会) | 金雄白先生 (在香港評論家) |
| 1963年(昭和38年)12月11日(水) | 中共・国府-日本 | 原富士男先生 (外務省アジア局中国課長) |
| 1963年(昭和38年)7月5日(金) | ソ連・東欧の内情と中ソ問題 | 岡田晃先生 (外務省経済協力局経済協力課長) |
| 1963年(昭和38年)1月12日(土) | アジア問題に関する懇談 (懇談会) | |
| 1962年(昭和37年)4月20日(金) | 対決段階に入った国際政局 | 広田洋二・関戸辰蔵先生 (中国問題研究者) |
| 1961年(昭和36年)3月3日(金) | 中国問題について | 広田洋二・関戸辰蔵先生 (中国問題研究者) |
| 1960年(昭和35年)7月30日(土) | 米大陸と西欧諸国視察 | 田中香苗先生 (毎日新聞常務取締役) |
| 1960年(昭和35年)5月16日(月) | インド近情 | 広田洋二先生 (外交評論家) |
| 1960年(昭和35年)3月4日(金) | 35年度予算と日本経済の前途 | 小峯柳多先生 (元自由民主党副幹事長) |
| 1959年(昭和34年)12月26日(土) | 中国大陸を見聞きして | 松村謙三先生 (衆議院議員) |
| 1959年(昭和34年)12月15日(火) | 中共学校政策の動向 | 広田洋二先生 (外交評論家) |

| 開催日時 | 演題 | 講師 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1959年(昭和34年)10月29日(木) | 最近の中共事情 | 遠藤又男先生 (外務省アジア局中国課長) |
| 1959年(昭和34年)9月28日(月) | 日米安保条約改定をめぐる諸問題 | 斎藤忠先生 (ジャパントイムス論説委員) |
| 1959年(昭和34年)8月4日(火) | 独立後のインドネシアの政治経済情勢について | 清水斉先生 (インドネシア文化協会理事長) |
| 1959年(昭和34年)7月28日(火) | 南北朝鮮の近情と日本 | 中保与作先生 (中国・朝鮮研究家) |
| 1959年(昭和34年)6月4日(木) | 中共と東南アジア | 田尻愛義先生 (霞山会理事) |
| 1959年(昭和34年)4月14日(火) | 社会党訪中使節団に同行して | 三品鼎先生 (読売新聞政治部) |
| 1958年(昭和33年)11月12日(水) | 中共の将来 (講演会) | 張君勵先生 (元中国社会民主党主席) |
| 1958年(昭和33年)9月30日(火) | 台湾問題をめぐる国際情勢 | 青木繁先生 (毎日新聞論説委員) |
| 1958年(昭和33年)6月24日(火) | 中共の強硬態度の原因 | 関戸辰蔵先生 (中国総合研究所主幹事) |
| 1958年(昭和33年)6月17日(火) | 中国共産主義運動とその前途 (講演会) | 鄭学稼先生 (台湾大学教授) |
| 1958年(昭和33年)5月27日(火) | 最近の日中関係をめぐって | 胡蘭成先生 (中国文明評論家) |
| 1958年(昭和33年)4月22日(火) | 大人の動物園 | 園江稔先生 (昭和医科大学教授) |
| 1958年(昭和33年)3月25日(火) | 浮世絵の話 | 近藤市太郎先生 (国立博物館資料課長) |
| 1958年(昭和33年)2月25日(火) | 映画の世界 | 曾我正史先生 (日映(株)専務取締役) |
| 1958年(昭和33年)1月28日(火) | 唐代文化の世界性 | 石田幹之助先生 (日本大学教授) |
| 1957年(昭和32年)12月17日(火) | 対東南アジア政策と経済協力 | 吉岡一郎先生 (外務省アジア局経済協力室) |
| 1957年(昭和32年)11月26日(火) | 人工衛星と国際政局 | 向後英一先生 (毎日新聞論説委員) |
| 1957年(昭和32年)10月22日(火) | 中共の問題点 | 小竹文夫先生 (東京教育大学教授) |